

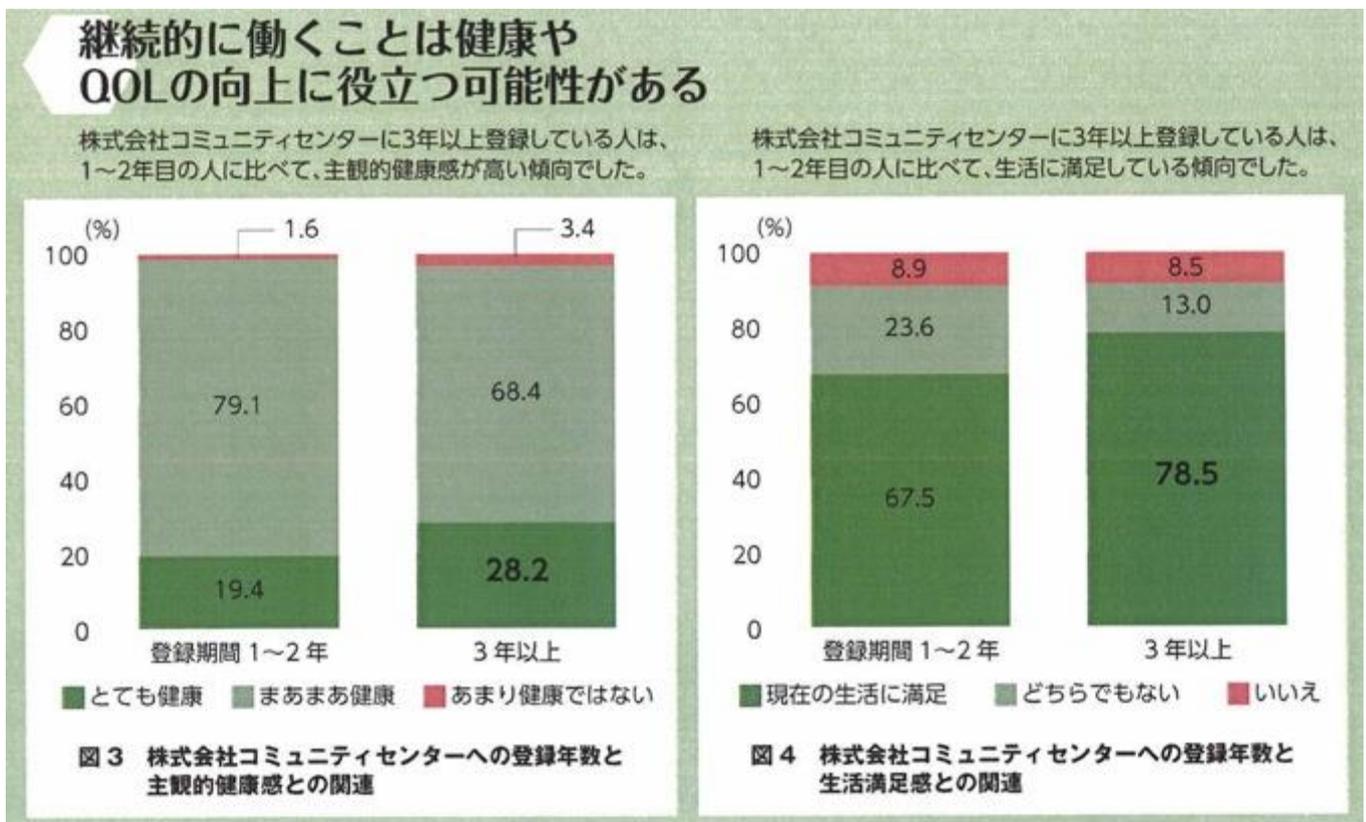
60歳以上シニアの就労に特化した、コミュニティセンター
首都大学東京・星旦二 名誉教授との協働研究の結果を発表
継続的に働くシニアは健康長寿

～「現在の生活に満足」の回答は、働く期間 1～2年 67.5%に比べ、3年以上は 78.5%～
～半年前と変わらず固いものが食べられる人の 89.0%が「とても健康」と回答 など～

「マンション管理代行業務」のパイオニアかつ専門会社の株式会社コミュニティセンター(本社:東京都練馬区、代表取締役:菅 利恵、以下、コミュニティセンター)は、60歳以上の同社登録代行員 475人を対象に、首都大学東京の星旦二名誉教授と協働して「働くシニアの健康寿命の背景と関連要因」についての調査研究を2015年1月から実施、本調査に関する分析結果について本日発表します。このたびの研究は厚生労働省が進める、早世を予防し健康長寿を維持していくことを目標とした「健康日本 21」政策に準じて、企画し実施しました。

【調査の概要】

- ・ 調査期間:2015年1～5月
- ・ 調査対象:コミュニティセンターで働く475人(回答者386人、回答率81.3% ※東京325人うち回答者261人、回答率80.3%、大阪150人うち回答者125人、回答率83.3%)
- ・ 代表的な結果



<本件に関する報道機関からのお問合せ先>

株式会社 AGENCY ONE 担当:荒木(080-5443-1922)、田端(090-4189-5378)、メール:press@agency1.co.jp

・ 本調査結果に対する首都大学東京の星旦二名誉教授のコメント

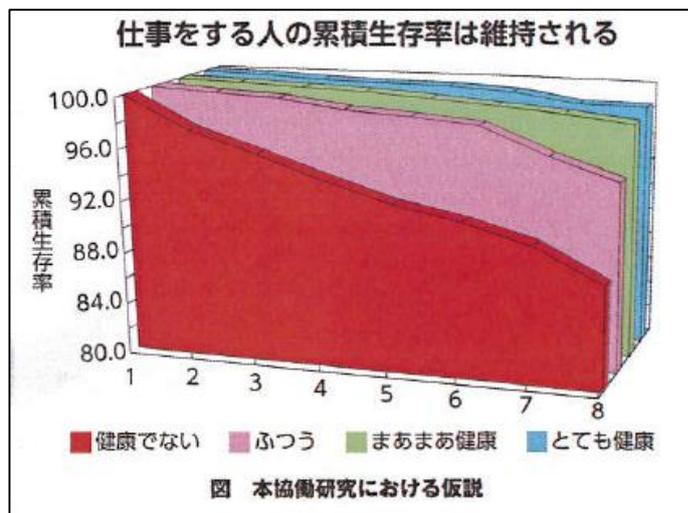
本調査によって、主観的健康感や生活の質を高めていくには、次に示した 6 つの要素が大切であることがわかりました。

- 1) 自己効力感が高い人は、主観的健康感が高い
- 2) 仕事で幸せを感じることは、健康と QOL の向上に役立つ
- 3) 継続的に働くことは、健康や QOL の向上に役立つ可能性がある
- 4) 望ましい口腔ケアがあれば、健康や QOL の向上に役立つ可能性がある
- 5) 社会的なつながりは、健康や QOL の向上に役立つ可能性がある
- 6) 人生の高い満足感は、主観的健康感を高める

・ 今後の調査の展望

本調査の結果を基準と位置づけ、今後も追跡調査を行う計画です。

右図は、経年的な累積生存率を示した図で、仕事をし、自分が健康であると認識する人が元気で長生きすることを仮説的に示したものです。この図のように、シニア層が仕事を通し、たとえ疾病を抱えても、健康だと感じ、前向きに生き、要介護状況にも至らずに健康長寿で暮らし続けることを願っています。



コミュニティセンターは、今回の協働研究を契機により多くのシニア層に社会参加の機会を提供できる企業として、「健康長寿」に関するセミナーなどを定期的で開催する計画です。自社の業務様態がシニア層の新たな働き方の一つの形としてより一層認知され、定着するよう取り組みを進め、3年後には現在約 500 人の登録代行員を 1,000 人まで倍増、売上も倍増の 10 億円を目指しています。

※本調査の詳しい資料をご希望のかたは、下記の問い合わせ先までご一報ください。

■ 星旦二氏プロフィール

首都大学東京 名誉教授

- ・ 専門・研究分野：公衆衛生 健康科学
- ・ 最終学歴・学位：福島県立医科大学 医学博士（東京大学）
- ・ 研究課題と業績：都市の健康水準とその規定要因を研究してきた。特に、高齢者の健康維持要因追跡研究として、都市 1.3 万人、地域 2.2 万人、合計 3.5 万人の生存追跡研究を実施し、健康三要素間の因果関係を世界で初めて明確にし、関連研究の原著論文を作成した。

■ 株式会社 コミュニティセンター 概要

<http://www.community-center.co.jp>

- ・ 社名：株式会社コミュニティセンター
- ・ 創立：1993 年 10 月
- ・ 資本金：1,000 万円
- ・ 代表取締役：菅 利恵
- ・ 従業員数：550 名(登録代行員数含む/2015 年 8 月現在)
- ・ 事業内容：ビル・マンションの管理員代行業
- ・ 事業所：【東京本社】〒176-0005 東京都練馬区旭丘 1-58-13 TM ビル 2F
【関西支店】〒530-0027 大阪市北区堂山町 1-5 三共梅田ビル 5F
- ・ 主な取引先
伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社/大阪ガスコミュニティライフ株式会社
株式会社日鉄コミュニティ/近鉄住宅管理株式会社/大和ライフネクスト株式会社
日本ハウズイング株式会社/ホームライフ管理株式会社
三井不動産レジデンシャルサービス株式会社/三菱地所コミュニティ株式会社 他
(あいうえお順)

<本件に関する報道機関からのお問合せ先>

株式会社 AGENCY ONE 担当: 荒木(080-5443-1922)、田端(090-4189-5378)、メール:press@agency1.co.jp